

☆学習課題：インドは、どのように経済成長したのだろうか。

☆学習活動

教科書 P54～55, 資料集 P 44～45

STEP①：教科書 P54 の資料 ②「インドの IT 関係輸出額の移り変わり」と資料 ③「24 時間対応のコールセンターの仕組み」から、どのようなことが読み取れますか。

資料 ②から…輸出先 1 位の国はどこですか？また、輸出額はどのように変化しましたか？

資料 ③から…アメリカの企業のコールセンターがインドにあるのはなぜですか？

STEP②：教科書の重要語句を調べてみよう。

◎活発な世界各地との交流

インドの急速な成長を支えているのは、英語や数学の（ ）の高さである。アメリカで働いていた経験を持つ人々がインドに帰国し、（ ）産業の成長に重要な役割を果たした。

◎変わる都市と農村

インドの人口は約 12 億（2012 年）で、（ ）が高いため、2030 年頃には中国を抜いて、人口が世界一になると予測されている。（ ）教徒が多数を占め、人口は北部のヒンドスタン平野や南部の（ ）に集中している。1960 年代から農業の近代化が進められ、農村から都市へと人々が移り住んだ。急激に人口が増えた都市では、（ ）の形成、交通渋滞、河川や大気の汚染など、深刻な（ ）をかかえている。多くの貧しい人が住む一方で、（ ）の結果、電化製品や自動車を持ち、豊かな生活を送る人々も増えてきている。

◎経済の自由化と工業の成長

1990 年代に入ると、（ ）の企業の進出が活発になった。日本の企業も工場を建設し、現地での生産を増やしている。

◎英語を共通語にするインドの人々

インドの（ ）語はヒンディー語だが、実際は 300 をこえる言語が国内で話されている。急速な（ ）化により、特にデリーを中心とした地域には異なる言語を話す人が多いため、（ ）が共通の言語となっている。

☆まとめ

☆振り返り

☆学習課題：インドは、どのように経済成長したのだろうか。

☆学習活動

教科書 P54～55, 資料集 P 44～45

STEP①：教科書 P54 の資料 ②「インドの IT 関係輸出額の移り変わり」と資料 ③「24 時間対応のコールセンターの仕組み」から、どのようなことが読み取れますか。

資料 ② から…輸出先 1 位の国はどこですか？また、輸出額はどのように変化しましたか？

(例)

輸出先…アメリカ 変化…年々増加している など

資料 ③ から…アメリカの企業のコールセンターがインドにあるのはなぜですか？

(例)

理由…アメリカとインドは時差が約 12 時間あり、昼夜が逆である。インドにも拠点を置くことで、1 日のどの時間でも対応を可能にするため。 など

STEP②：教科書の重要語句を調べてみよう。

◎活発な世界各地との交流

インドの急速な成長を支えているのは、英語や数学の(教育水準)の高さである。アメリカで働いていた経験を持つ人々がインドに帰国し、(情報技術(IT))産業の成長に重要な役割を果たした。

◎変わる都市と農村

インドの人口は約 12 億(2012年)で、(出生率)が高いため、2030年頃には中国を抜いて、人口が世界一になると予測されている。(ヒन्दゥー)教徒が多数を占め、人口は北部のヒन्दゥスタン平野や南部の(沿岸)に集中している。1960年代から農業の近代化が進められ、農村から都市へと人々が移り住んだ。急激に人口が増えた都市では、(スラム)の形成、交通渋滞、河川や大気汚染など、深刻な(都市問題)をかかえている。多くの貧しい人が住む一方で、(経済成長)の結果、電化製品や自動車を持ち、豊かな生活を送る人々も増えてきている。

◎経済の自由化と工業の成長

1990年代に入ると、(外国)の企業の進出が活発になった。日本の企業も工場を建設し、現地での生産を増やしている。

◎英語を共通語にするインドの人々

インドの(公用)語はヒンディー語だが、実際は300を超える言語が国内で話されている。急速な(都市)化により、特にデリーを中心とした地域には異なる言語を話す人が多いため、(英語)が共通の言語となっている。

☆まとめ

(例)
インドは、英語や数学の教育水準が高く、技術者の育成に力を入れている。時差を活かしてアメリカと協力して情報技術産業を発展させるなどし、経済成長した。

☆振り返り

